

高小だより

羽曳野市立高鷲小学校

令和5年

11月号

《全力投球で秋をまっしぐら》

霜月を迎えました。10月の運動会では、前日の雨で運動場が氷たまりだらけでした。早朝より開門を待っていただいていた保護者の方々にも氷を吸いあげる作業をお手伝いいただき、おかげさまでグラウンド整備をすすめることができ、通常開催できました。

保護者のみなさん、近隣の皆様、青少年指導員の方々、PTA役員のみなさん、支援員さん、学生ボランティアなど高鷲小学校が日々お世話になっている方々のお力添えによって、子どもたちは力いっぱい走り、そしてのびやかに演技を行うことができました。

先に述べたとおり、入場門・退場門付近に水が溜まってしまい、安全も考えたうえで門柱を立てませんでした。とても残念でしたが練習の成果もあってスムーズな入退場がおこなえてよかったです。5・6年生の係活動、そして復活した応援団も素晴らしく心ひとつにしてがんばれましたね。それから何より、けがが全くなくて無事に閉会できたこと。これは素晴らしいことでした。みなさまよりたくさんの応援と誉め言葉をいただいたお礼を申し上げます。

11月には遠足、社会見学、音楽大会、幼稚園との交流、中学校での高鷲つ子フェスタ、育成協・福祉委員会主催の高鷲ふれあいフェスティバルなど、いろいろな行事が続きますが、集団活動でのルールや各行事での子どもたちの経験と成長を願ってのものであります。このようなチャンスを大切に、毎日を楽しませて過ごしてほしいです。どうぞ、教職員と、保護者、地域の方々とともに応援してまいりましょう。よろしくお願いいたします。



校長 平元 千恵美